



2023 年 11 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
代表者 代表取締役社長 牧 寛之
(コード番号 6676)
問合せ先責任者 IR 部長 瀬瀬 保一
(TEL 03-4213-1122)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023 年 11 月 13 日開催の取締役会において、2023 年 5 月 12 日に公表いたしました 2024 年 3 月期通期連結業績予想を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024 年 3 月期通期連結業績予想 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150,000	4,000	4,300	3,000	177.98
今回修正予想 (B)	148,000	1,800	1,600	1,200	71.35
増減額 (B-A)	△2,000	△2,200	△2,700	△1,800	
増減率 (%)	△1.3	△55.0	△62.8	△60.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	142,576	4,518	4,718	3,057	181.23

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間において、IT 関連の主要事業会社であるバッファローは付加価値商品の拡販と共に、商品の安定供給と価格安定に努めシェアは維持・拡大したものの、利益面では業績予想作成時に想定した為替レート通期平均 1 米ドル=130 円に対し、大幅な円安で推移したことにより原価が高騰し、非常に厳しい収益環境となりました。食品事業は付加価値商品の拡販や新規需要の開拓を推進し、主原料の小麦粉・そば粉などあらゆる原材料や人手不足により製造労務費が上昇する中、原価の低減に取り組むと共に、2023 年 2 月実施の商品価格改定の定着に努め、売上高・利益共に堅調に推移いたしました。

バッファローにおいては、為替水準が当初の想定を上回る円安基調が継続していることから、下期の想定為替レートを現状の為替水準である 1 米ドル=150 円程度に見直し、また、国内需要の大幅な改善も見込めないことから、2024 年 3 月期通期の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(注) 上記の業績予想等につきましては、当社が現時点までに入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって上記予想と異なる可能性があります。

以 上